

令和 5年 3月

藤田麻理子 学位論文審査要旨

主 査 山 崎 歩
副主査 松 浦 治 代
同 網 崎 孝 志

主論文

Factors influencing parenting stress in the mothers of infants and the effects of artwork production

(乳幼児をもつ母親の育児ストレスに関連する要因とアート作品制作の効用)

(著者：藤田麻理子、菅井敏行、吉岡伸一)

令和5年 Yonago Acta Medica 66巻 159頁～170頁

参考論文

1. B市における高齢者サロン参加者の役割認識とその関連要因

(著者：吉川優子、小笹美子、榊原文、藤田麻理子)

令和3年 島根大学医学部紀要 43巻 33頁～40頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、乳幼児の母親を対象に、手形アート作品制作への自己評価と育児負担感指標を用い、制作方法の異なる2群を比較することで、育児ストレスに関連する要因を検討したものである。その結果、幼児期後期の子の母親は、幼児期前期までと比較し、育児ストレスが高く、子のきょうだいがいる母親に育児ストレスが高かった。また、子に対する否定的感情の認知に関する育児ストレスが高いことが認められた。さらにアート作品制作を幼児期後期の子と共同で行った母親に、育児ストレスと「作品に対する自信」との関連が認められ、作品に強い自信をもてる者ほど育児ストレスが低いことが示唆された。本論文の内容は、母親が手形アート作品に対する自信を高めることで育児ストレス耐性を高める有効性を示唆するものであり、母子保健分野で明らかに学術水準を高めたものと認める。